



自強不息 質実剛健 文武両道

URL : <https://www.koyo-h.wakayama-c.ed.jp/index.html>

令和6年度卒業式

厳しい寒さもようやく峠を越えた3月1日、273名の向陽生がそれぞれの道に向かってこの学び舎を巣立ちました。松本校長は式辞の中で、アメリカの詩人、サムエル・ウルマンが書いた『青春』という詩を紹介されました。「青春とは人生のある時期ではなく心の持ち方を言う。希望や志を高くもち、諦めない気持ちを持ち続けている状態のことであり、年齢は関係ない」と考えているとのこと。1年生、2年生は、高校生活の残された時間の中で、「本当に自分らしい自分」とは、どんな自分なのか、或いは、何をしている自分なのかとしっかり自分自身と向き合い、自分らしく進むべく道を見つけてほしいと思います。そして、高校卒業後、その道をしっかりと歩めるように、力を身に付けてほしいと思います。



2年生 クラスマッチ

肌寒さが残り、時折、にわか雨もパラついた3月6日、グラウンドと体育館で歓声が響きわたりました。2年生のクラスマッチは、男子はサッカー、女子はバレーボールで熱戦が繰り広げられました。1つのボールに両チームの選手だけでなく、周りで応援する生徒の全員が集中し、ゲームの流れを見守っていました。得点が決まる。自分たちの流れになる。それぞれの場面で、チーム全員で喜び、また、悔しがる。

今回のクラスマッチでは、「得点を取る」「勝つ」というチームの目標に向かって、一人一人が自分の役割に応じた動きをする。他の学校行事においても、目標に向かって一人一人が目標に向かって役割を果たす。これが「チームワーク」というものです。お互いが助け合う、かばい合うということの前に、まず、自分の役割をしっかりと果たすということが大切です。学校生活でも、社会に出てからも「チームワーク」を意識して行動してください。



1年生 沖縄修学旅行

3月5日から7日の2泊3日で令和7年度の修学旅行が実施されました。天気が心配されましたが、大崩れすることもなく、1年生は、和歌山県から約1100km離れた沖縄県を満喫できたと思います。1日目の平和学習では、日本で唯一、地上戦が行われ、戦争の爪痕を見ることができたと思います。2日目、3日目には、グループでの体験活動や、首里城や国際通りで見学を通して沖縄の風土や文化を体験しました。太平洋戦争で、日本で唯一地上戦が行われた沖縄県を肌で感じた皆さんが、次にすべきことは何ですか。昨年10月、芸術鑑賞会と兼ねて行われた平和学習で、今もなお地雷の危険にさらされているカンボジアの現状について学び、ニュースをつければ、ロシアとウクライナ、ガザ地区の惨状が映し出されます。皆さんが課題研究で取り組んでいることが、また、皆さんが身に付けた力が、争いのない平和な世界の実現に繋がればと思います。

